

〈切手のデザインについて〉

- (1) 行書体の亥 (行書) 単純な点画の中になるべく変化を求め、字形にも右側と左下に余白を作って、動を表現してみました。左下の印によって動を静に換えて押さえたつもりです。
- (2) 金文による亥 (金文) 筆力とスピードを加えた金文書を凸文で刻り上げ、金箔で仕上げました。
- (3) 隷書による亥 (隷書) いのししの突き進んでゆく状況を、明るい未来への発信と受けとめ、素朴で力強い隷書で表現しました。
- (4) 旧仮名のぬ (かな) 旧仮名の「ぬのしし」の「ぬ」を力強く単純に書いてみました。
- (5) 金文による丁亥 (金文) 中国の殷・周時代の古銅器に刻された金文体を用い、「丁亥」の二字を一体化して表現しました。
- (6) 周代の金文の亥 (金文) この時代の古銅器に鑄込まれていた「亥」の文字を素材にして、現代的な表現にいたしました。
- (7) 殷代の鼎の亥 (金文) 【※鼎=食物を煮るのに使う金属または土製の容器】殷代の鼎に「象形・金文」で鑄造されていた亥。亥は、農業・刑罰あるいは王の権力の象徴として用いられていました。
- (8) 金文による亥の字 (金文) 屈託がなくどこか大きく空気を孕む姿にして、ある種の活力を生かしたものです。
- (9) 篆書の亥 (篆書) 古代器物に刻された銘文で大へん珍しい造形の亥であるので、大きく動く姿を求めました。
- (10) 隷書の亥 (隷書) 漢代の隷書を基調にオーソドックスに表現しました。

干支文字切手特殊通信日付印

使用局 (A) 定例局

(B) 札幌、仙台、横浜、東京、
長野、名古屋、大阪、岡山、
福岡の各中央郵便局

使用日 (A) 12月1日(金)~12月7日(木)

(B) 12月1日(金)のみ



干支文字切手

<http://www.kitte-design.net/>

発行日：平成18(2006)年12月1日(金)



種類 80円郵便切手
※1シート10枚/1枚から販売します。

意匠 / 書

- (1) 行書体の亥 / 皆川 雅舟、(2) 金文による亥 / 薄田 東仙、(3) 隷書による亥 / 林 蕉園、
(4) 旧仮名のぬ / 山崎 暁子、(5) 金文による丁亥 / 菅野 清峯、(6) 周代の金文の亥 / 關 正人、
(7) 殷代の鼎の亥 / 吉田 成堂、(8) 金文による亥の字 / 中野 北溟、(9) 篆書の亥 / 貞政 少登、
(10) 隷書の亥 / 神郡 愛竹

発行日 平成18(2006)年12月1日(金)

版式刷色 オフセット5色

印面・小切れ寸法 縦36.5mm×横28.05mm

シート寸法 縦222.5mm×横112.2mm

デザイン 森田 基治 (切手デザイナー)